

えとぶし

おじやう
いか



Rican

雑記

2011.3 - 2014.3



何か、段々、何か、文学的な

ことをしようとか、日記

だとか、そういうことでは

ありません。断片的な

記憶をメモ書きのやうに

書いておいてみるだけなのでは

へにおはが
現じっている
見ます

読みせよしこと
見に入りますか

詩作は
熱いもので

仕方ありません。
早稲くの

田心は
2014年3月8日及び
9日に言さ
ました。

ア
ル
ル
ル
ル
ル
ル

雨風いびで、ビルが壊され、

私も仕事を失ってしまふ。

民主の時代はずっと不況

だったと、思ひ返す。

大變なのは、私だけでは

なかつたといふことも。

外の仕事に出るときには、
決って、帆船の
マヅカ^カを
を持ってある。

いつでも、海軍に出ている

長持ちになれ、嬉しく

なるからである。

上田千五郎の

パスポートを拭き上げ

組み立てた人たちの

指紋を
取り除く

の
こした。

そこに居る。

人たちは、

絶望の

淵に

いる

や

でも

あり

明日

に

向ひ、

何かを

探して

いる

様

でも

ありました。



R

工場のチャイムが鳴り、

終業の人たちが、建物を

飛び出してゆきます。

どの人も散りぢりに、

帰り道を急いで行く

のです。

その湯のみたちは、

長に「こと」を待ちまし

たが、とうとう

木の葉のゴニの日に

捨てられぬことと

なつたのでした。

心ゆく入りに
とつ、またとつ、
湯のみを、乗せるの
で、す。もう、会社を
辞めた人たちの悔しい
思いを、たちを。



月日といふのは、

流れないといふことは

いきなりから困る。

今、かぶしている向にも

時間は秒を刻み、私は

また、一秒年を取るのである。

長
生きの語に、よくなります。

年のせいかもしれませんが。

健康で、かつ、ある程度の

お金がなければ、**長生き**

など、知らない方がよいのだと

思いますが、物々です。



16, 5, 9
[Signature]

必然といふ言。世末が

あります。不景気も

貧乏も、人ともめるのも、

前には進むための

必然だったのだと、今は

悪心えこくるのです。

溶

接

燃

へてゆく

エフロインの

を、皮でアッフリケする。

エフロインの抽象画のわらに

エフロインを彩ど、てゆく

エフロインである。



新しい



←皮の
ア...カ

ス...ア →
の...があと

P...er
2014.3.9

茶人

茶のびといふものは、
精一杯のおもてなし⁹じ。
来²下³さ⁴った方に、
今、でき⁵る⁶ことをあれば⁷
他には何も再⁸さらないの
て、あります。

抹茶ホを頂く。

自作の茶碗
~~碗~~ 碗で

点ててみる。
記々か

し日ひと因心つ。迄た

うけご推将大。

私のところには、まぐの先生
も、裏の先生も来て下さい
ます。一服を楽しみながら、
茶の本質とは、本来、この
いう（形式にとらわれず、自由
な時間）ものたること、この話に
なりまます。

本
日

2014. 4. 8

3. 9 . 8 乙 15 日

今日は、だにーらぬ

著いています。

それから、いさなじゃが

イモも著いています。

おでんです。

アム
しいる？

ああ
いなか
いかもわ

彼女が
電話してあげようか
行くところ

いへば、
病院か、
買物

か
110
4
3
だからね。

まだ三月だといふのに、
今年はずいぶんたくさらの
ボタニを付けました。

世の中には、ボタニをつけら
れたい人がたくさるに
あつた。敬慕しました。

屋形船の抽選があるので、

利は、親や、知人の

名上刑でも、心算券券を

送るのてす。誰かに

川ヨたるに違ひないから

てす。

スし振りに本屋に入る。

まだこんな

本が売られているのだと

思ひ、敬慕した。

電気の時代の扉は開か

ずたに思える

いふの

般若の面を觀ました。

私の知る女の顔に似ていた

ので、敬馬きました。

芸行性には、普遍といつ

言、世木も含まれますが、

人相もまた、さういふ

類のものなのだ。

美しい女が旅を
しています。

情熱の国は、
私が旅をした

時のやぶに、
どの女たちも

輝いていました。
心の中で、

また、その地を
訪ねる日が

来ることを願
っていました。



美しきといふのは

内面から湧き出てくる

ものだといふのが

自論です。なかなかな

美しくはなれないものだ

たよと



フ
ラ
メ
ー
コ
ダ
ン
サ
ー
カ

与
謝
野
晶
子
の
歌
の

情
熱
に
感
動
したと

い
ふ
の
で
あ
る
私
に
は

難
し
く
て、
漢
字
も
読
め

な
か
つ
た
と
い
ふ
の
上
の



P.
2014, 3,

四 買ったばかりの備前の

湯のみを割ってしまいました。

す、と電見父まで焼いたんぞ。

うと、おこと、ましました。

陶器は

えこうして、先生の陶器は

壊れてはいけないうたよ、といふ

三三。世ホも思いにあすのでした。



Kees
2018, 9.9.

大根は、半透明になりつつ

ありまます。もう、湯を捨て、

こんぶだしで煮るべきか、

悩みます。

人生の悩みと

いうのは、こんなふうに

なくならなないので困ります。

どりとたけしからあ、
中、動物園に通ったのた^サとある。
さうして、どうすればいいか
になぬめが、ファイオニになぬめ
か、猿山のボスになぬめ
かを、アラスカ続けたのだと。

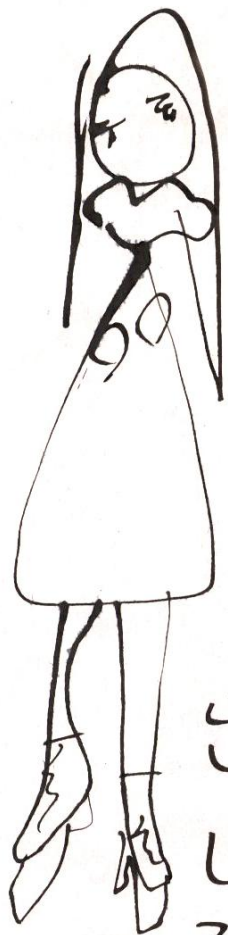
髪も金色に染めた

女を見るのは、ずいぶん

久しぶりがした。

都心ではどの女も、口を

出しこゝると



いづの
にの

縁カクのスカーフを巻いた女は、
店の前まで来て、

180度回転し、黄褐色に
バグになり、今来た道
を帰ってゆくのでした。

すししの間、田かき二人、
餅付けししていたことが
あつた。餅付けは、

田心の他に簡単であつた
が、私も金に困るやふになり、
日取後の晩餐を向へたのである。

「ロミアが」悪くなると、
どこかで「尹」が「起き」、
ロミアが「加勢」する。

もうすると、アメリカが、
平和を守るという名目で、
敵サイドを味方する

のである

世界経済は、結局、武器
の買売が維持してゐるのだ
と、今日売付き、

アメリカとロシアは
永遠に戦い続けるのだと
悟つたのでした。

私は人相見なので、

ブツシユはテロリストに

しか見えなかつた。

やつれた顔のオバマ

大統領の、本音心では

ないという、悲壮な表情

に、私も痛みを覚えた。



あとリ、えの
張^あ隣^い人が訪ねてくる。

何でも隣土一画を

工事するのて、私の敷地
内に立ち入るのたそこつた。

私は、不在で心が
届かないことを、あつて
し、前回は仕事した時（私
が）あつてを購入してから
もう、十年も経ってしまっ
たので、あつてとしてみ
み。

大根は、とうとうゆで汁を
捨てられ、^{こしょう}出汁の中に入れ
られました。かんもどきと
あじと、こんぶを入れて、
また、ひしななストーブの上に
乗せられるのでした。

新

作

心 新 吹
を しい 吹
暮 ち 入
ち っ ち
け け け
す 。

しーにライトせしす
ーが流れていきます。
ウラリネットが
ため息の様な音を
うたい、フックが時々
応援するのです。

思かなる文を

記す

の

に、新しい紙を

使

ふ

といつのは、

思ひかき

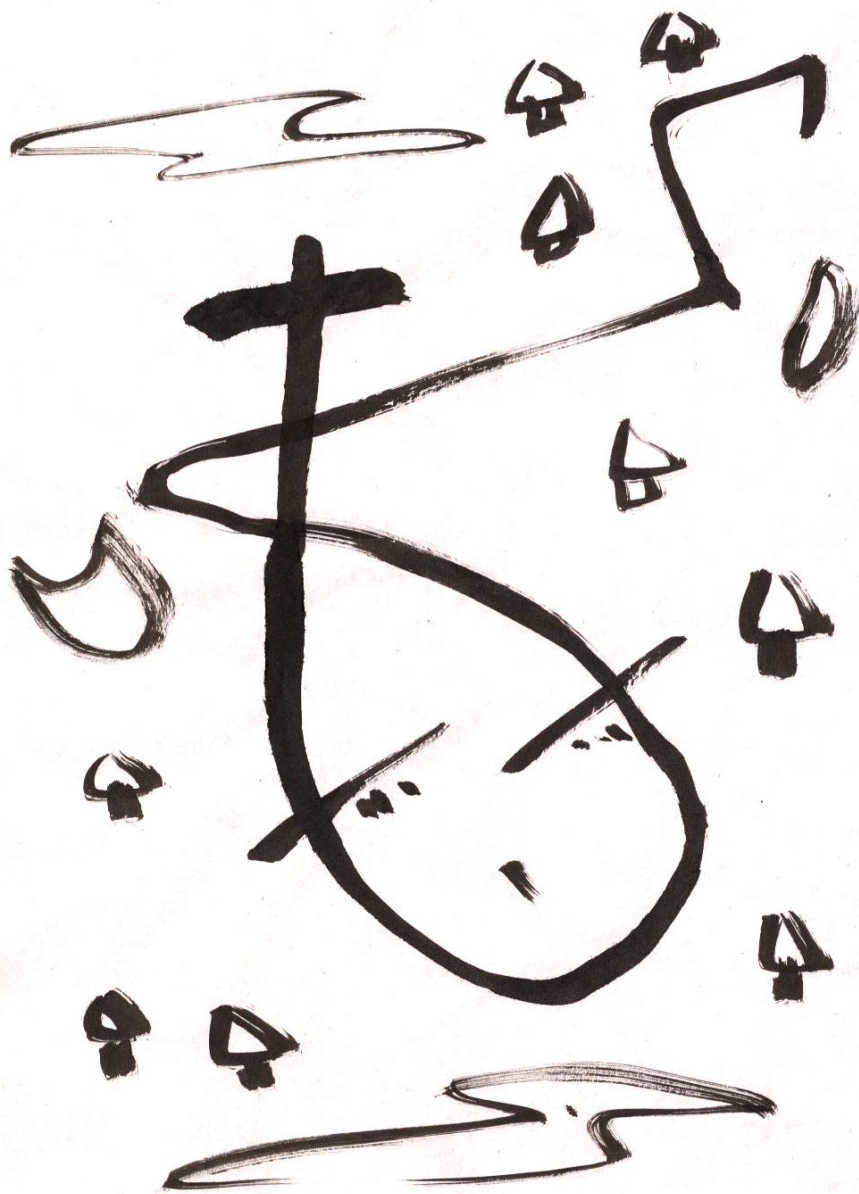
の重ぬ塗りです。

だから

利は、もう捨てる紙に

アゲロニとかけ、そこに書るくの

です。



2014.3.7

詩は、とんとんと書かれ、

乾くまでの間、
床に広がって

ゆきまます。そうして、

猫は、
躡踏うまなく、
その上を

歩あき、
回り、
時には

庭にりこんで
しまぶのてした

手あぶりの **井** 炉裏に

マウスを落したら、焼けて
しまふのでした。

私は、般者に經を、ハナク

ためて、マウスの中に閉じ込め

ました。電池のかわりに、仏と

なり、来る人は、それを **見** なければ
な **ら** ないめでした。

美術館のポスタの裏に

いさないなさな
ふたをひ

般若心經を
まき目くのです。

えうして、その巻き物は、

いさく丸めら
れ、~~ん~~んとは、

雨卓の中に納め

られるのでした。

新作
太乙



mic
2014, 3, 8.

アラスカが焼けてしまった
ので、自分のま

持って来やぶとせぬ。

忘れてはまた、

忘れてしまったことを
出す。田心

詩は、次々と書目かれ、
先程作られた、針金と

クリッソの什器に吊る

たしれ、乾かされてみる。

次は、糸が無くなるので

アイロニがけをする。

45年ぶりの

大雪となり、東京も

冷蔵庫になりました。

私は大きな雪だるま

を2個つくりました。

昨日の
残りの

冷たくなつた
フービーを

すすめる。
心臓から

田月袋
まゝで冷
くなる。

フジタの絵を見ます。

白いカンバスに墨で書かれた
迷いの無い線の美しさに

引きこまわて、私は、いつまでも

息を止めて、その絵を

見つめるのでした。

何枚 ~~薔~~ 薔薇のサレを描か

いと、~~満~~ 満足されること

いふことはな~~い~~い。

それと、昔の絵のオ-

ラの「白が」大井「~~い~~」とも

向 ~~中~~ 遊むはな~~い~~い。



今日もたぐし

詩を舞いのて

乾^ホ燥^ホ たりたせ

しもを

あま

る

暗さを押さえておろす

すぐに紙がなくなつて

しまひ次の紙が、

ルにしわくちゃになつて

入ってきた紙を伸ばし

アインロンをかけたの

かき
かき
かき
かき
かき

猫は時々

い相をいびいび出るとは

ちひさしなよ欠伸を

みるのでした。

猫共は、春の散歩を

かきしんでいるやぶだ。

桜の枝ひとつも

無い路地裏で

ある。

かすかに三三三といた

お母様は、とうとうこの屋

根に物動してしまひ、

地べたに残された猫共は、

背を低くして鳥を相ふの
ごま。

階段に
いさな
に
あける。
階段の裏を
行き来
する
ネズミども
を猫が
見ることが
できる
やぶに
あるため
である。

猫が小さく鳴いています。

新しいエサを出して欲しいと

頼んできこえます。

ベニグッドマニがここです。

クラリネットをパラパラと鳴

らし、歌が始まるのです。

彼女は、蒸干しのからを
見つけたし、空腹を満たした
かぶりでした。

ペロリと舌を出し、そうして、
外の見える場所に移り、
ゆがくりと顔を舐め始める
のでした。

ガラス戸の向かいで、

女が微笑んで、午を振って

います。利は気にせず、詩を

書目キ続けます。猫は、小首を

かしげて女を見つめ、しばらく

そふいう時向が結ぶくのびいた。

猫共は、ポカポカ
お互いを楽しく
蹴りはじめた。
そうして、私が
トイシに
入った隙に、一匹の猫が、
当然のやうに、私の
ポカポカ
椅子の上で、丸くなつて
いるのである。



キジ

キジ

2014.
3.9.
↑

とうとう、これが

目録後の紙になつてしまふ

ました。何だか解らない

挿絵のほとんどもには、意味が

ありません。紙が集まつたから

また詩を面白くつと思つて

ます。

ラ、度は、描いた詩の

順、番を決めねばなりません。

~~押~~ 絵と作るのかどうか。

題 字はどうするのか。

ま^まず 書^き目^きを^ござ^らぬ^こみ^る

い^いこ^もい^いく^つも^あり^ます^か、

田^いい^い出^せば、^また^作る^かも

し^しれ^ませ^ん。い^いつ^も、^読ん^だ

下^さっ^こあ^りが^とい^いざ^い

ま^まず。お^しま^い。お^いら^りが

あとりえおじゃらの本



雑記

特に重要な話は
ひとつもありません。キツパリ。

(CD版 700円
ダウンロード版フリー)

2014年7月23日発行

詩・ドローイング・書 おじゃらりか
発行者 おじゃらりか
発行所 あとりえ おじゃら
所在 〒120-0034
東京都足立区千住 3-58
おじゃら現代美術館 & 画廊

E-Mail: rica@ojara.net
<http://www.ojara.net>
ISBN 978-4-901941-28-0

© おじゃらりか

※お気づきの個所がございましたら、ご面倒様でも、E-mailにてお知らせください。よろしくお願い致します。

おとこおじやらの本



<http://ojara.net>

ISBN 4-901941-28-0

C0871 ¥700